

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	司法研究科
大項目	4 教育内容・教育方法の改善に向けた組織的取り組み
中項目	
小項目	4.0.1 FD活動
要素	教育内容や教育方法の改善に向けた組織的取り組みが適切に実施されていること。
小項目	4.0.2 学生評価
要素	教育内容や教育方法についての学生による評価を把握しその結果を教育内容や教育方法の改善に活用する取り組みが適切に実施されていること。

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 授業参観と意見交換会への参加者実数を1学期あたり20人以上にする。	→授業参観・意見交換会の参加者数	C	B	B	B	/
2. 各種FD活動のうちの何らかの活動に任期制実務家教員の4割以上、兼任教員の1割以上、非常勤講師の1割以上が参加する。	→各種FD活動への任期制実務家教員、兼任教員、非常勤教員の参加者数	C	C	C	C	/
					☆	

  

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

### 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2012年度の授業参観への教員の参加状況は、春学期14名、秋学期15名と目標としている基準から若干下回っている。教員へのアナウンスは教授会での通知、メールでの案内を2回行っているが、より参加意識の向上を目指した取り組みが必要である。
目標2	2012年度の授業参観、判例研究会への参加状況は任期制実務家教員が6名(12名中)あったものの、兼任教員は0名、および非常勤講師は1名にとどまった。兼任教員と非常勤講師が参加できるような方策の検討を行う。
備考	